

第185号
令和2年
7月30日発行



- PTAの目標
- 1、本校生徒の幸福を増進する。
 - 2、学校教育、家庭教育のよりよい効果をあげるために協力する。
 - 3、会員相互の教養の向上と親睦をはかる。
 - 4、ひろく地域社会との連携のもとに、教育の向上をはかる。

- 教育目標
- 白梅精神の発展をめざし
- 根気よく心身を鍛える
 - 深く考えくふうする
 - 思いやりの心をもつ

発行/台東区立忍岡中学校PTA 台東区上野公園18-20 編集/PTA広報委員会 責任者/PTA会長 庄司 智哉



「仁」

PTA会長 庄司 智哉

日頃よりPTA活動へ、御理解、御協力をいただきありがとうございます。本年もど

このような時だからこそ

校長 平井 邦明



今年には新型コロナウイルス感染症が全世界に広がり、猛威を振るいました。連日、様々なニュースが流れる中、「家族」「命」など、「今あるもの」に改めて感謝の気持ちをもつ機会になった方も多いのではないのでしょうか。

な影響を与えました。さらに、トイレトペーパーの不足というネット情報による混乱、ドラッグストアでマスクを買い求める人の店員の方に対する心無い言葉など、私達の心も揺さぶりました。今回の感染拡大は誰が悪いというわけではなく、私達に突き付けられた運命とも言えます。私達は運命を変えることはできません。ですが、運命に対する態度は自分自身で決めることができます。忙しい時、苦しい時、大変な時の振る舞いが「本当の自分」だと言われます。

うぞよろしくお願ひします。
三月二日からの臨時休校延長を受けて、PTAとして総会を中止、配付資料による御確認とさせていただきます。皆様には多くの御承認をいただきありがとうございます。また、本年度は不透明な未来を考慮し、PTA常置委員会を

このような時だからこそ、大人も子供も関係なく、自分自身を振り返ってみたいものです。
学校再開後、生活のルールや約束事が増えました。生徒の皆さんには、「自分だけでなく、周りの人も大切な存在である。」という思いで行動してほしいと願っています。
感染予防のため、残念ながら中止となった学校行事もあり、生徒たちに充実感をもたらすために、様々な工夫をしていく必要があると考えています。試行錯誤を重ねながらの取組が続きますが、教職員一同、精一杯の努力を重ねて参りたいと思います。今後とも皆様の御理解、御協力をよろしくお願ひ申し上げます。

設けず、本部役員十八名とサポート隊の体制で活動することとしました。随時、サポート隊の募集をさせていただきます。御協力お願いします。
休校期間中に忍岡中学校のホームページがリニューアルされました。特に、学校ブログでは先生のお気持ちが伝わる記事が楽しみです。配付プリント一覧も掲載いただいていますので、御活用ください。



学校における「新しい生活様式」



臨時休業で始まった今年度。3週間の分散登校を経て、6月22日から通常登校が始まりました。学校では感染予防のために様々な取り組みをされていますが、その中の3つを御紹介します。

(取材：PTA本部)



① 手洗い励行

学校では、感染予防の基本と言われる手洗いを励行しています。登校時、給食の前後、そして技術や体育の実技、理科の実験等で共有する用具や設備を使用する授業の前後等で、必ず手洗いを指導されています。また手洗いの順番を待つ生徒が密接しないよう、立つ場所にテープでマーキングされています。

② 給食への配慮

給食に関連した感染予防策を栄養士の末次先生にお聞きしました。まず配膳時の感染リスクを下げるため、品数を減らしても栄養価が最低限、満たせるような献立作り、そして配膳しやすい個数物の提供を増やされました。また配膳時の密を避けるため、配膳場所を教室から廊下へと変更し、配膳する生徒は手袋を着用します。教室では食事の直前までマスク着用、食事中は私語厳禁、食後も直ちにマスク着用を徹底しています。



③ 下校後の消毒

教職員の方々は生徒が下校した後、毎日四十分かけて各教室の机、椅子、窓枠から黒板消しに至るまで、手が触れる場所を消毒液で拭かれています。先生方が消毒されている間、部活動の生徒たちは体育館で自習をして待機します。また、部活動の生徒たちが下校した後、部活動で使用了体育館、トイレなどを顧問の先生方が三十分かけて消毒されます。大変な労力です。



学校では、台東区教育委員会が定める「台東区立学校園版 感染症予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症）」に則って、教職員の皆様が感染予防にお力と時間を注いでくださっていることを目の当たりにしました。家庭でも同様に予防を徹底し、学校生活がこのまま継続するよう努めてまいりましょう。